

随意契約に係る情報の公表(工事・業務)

工事・業務の名称及び数量	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	随意契約によることとした理由及び根拠条文	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	公益法人の場合			備考
										公益法人の区分	国所管、都道府県所管の区分	応札・応募者数	
除雪車オペレータ支援システム改良及び評価試験業務	契約職 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所長 井上 勝伸 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34	令和7年8月21日	パンフィックコンサルタンツ(株) 北海道支社 札幌市北区北7条西1丁目2-6	8013401001509	本業務は、除雪車オペレータの負担軽減を目的に、除雪車オペレータを遠隔からサポートする「除雪車オペレータ支援システム」の改良及び評価試験を行うものである。 本業務は、技術的に確立されていない除雪車オペレータ支援システムを改良するに当たり、システムのセットアップツール検討・作成方法など、高度な知識と構想力が求められる。このため技術提案に依る検討が多く、契約方式を簡易公募型プロポーザル方式とした。 その結果、入札説明書を交付した3者のうち、本業務に参加表明し、業務実施要件を満たし技術提案を行った者は1者であった。 左記業者は、予定管理技術者の業務実績、技術提案の内容等を総合的に評価した結果、本業務を実施する上で必要な能力が十分に備わっていることが確認された。 以上の理由から左記業者を選定し、国立研究開発法人土木研究所会計規程第52条第4項第一号及び国立研究開発法人土木研究所契約事務取扱細則第26条第1項第二号ホの規定により随意契約を行うものである。	16,445,000	16,445,000	100.0%					
深層学習による水害時の浸水深予測モデル開発業務	契約職 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所長 井上 勝伸 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34	令和7年8月21日	いであ(株)札幌支店 札幌市中央区南2条西9丁目1-2	7010901005494	本業務は、外水氾濫時における堤内地の浸水状況把握を目的とし、深層学習技術を活用して任意の越流・破堤箇所設定時の各地点浸水深を高精度・高速に推定するモデルを開発するものである。 本業務では、外水氾濫時の浸水状況を高精度かつ高速に予測するための深層学習モデル開発が必要で、このモデルの開発には技術者に高度な知識と構想力、応用力が求められる。このため本業務は技術提案に依る内容が多く、契約方式を簡易公募型プロポーザル方式とした。 その結果、入札説明書を交付した10者のうち、本業務に参加表明し、業務実施要件を満たし技術提案を行った者は3者であった。 左記業者は、予定管理技術者の業務実績、技術提案の内容等を総合的に評価した結果、3者中、最も優れている者として特定した。 以上の理由から左記業者を選定し、国立研究開発法人土木研究所会計規程第52条第4項第一号及び国立研究開発法人土木研究所契約事務取扱細則第26条第1項第二号ホの規定により随意契約を行うものである。	10,978,000	10,978,000	100.0%					

工事・業務の名称及び数量	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	随意契約によることとした理由及び根拠条文	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	公益法人の場合			備考
										公益法人の区分	国所管、都道府県所管の区分	応札・応募者数	
沿道の溜まり空間の利用者行動に関する実証実験調査業務	契約職 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所管理部長 二瓶 光一 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34	令和7年10月1日	パシフィックコンサルタンツ(株) 北海道支社 札幌市北区北7条西1丁目2-6	8013401001509	本業務は、郊外部における道路の利活用ニーズの変化に対応し、景観、安全、使いやすさの機能を総合的に高める「道路空間リデザイン」の計画・設計技術の開発を目的として、道路空間の魅力向上に寄与する「沿道の溜まり空間」を主とした道路空間リデザインの実装に向けて、現道施設またはその周辺における利用者行動に関する実証実験の計画・実施・分析を行うものである。 本業務では、「沿道の溜まり空間」を主とした道路空間の利用者行動に関する実証実験を実施することとして、利用者行動を踏まえた実験計画を立案し、その計画に基づき実験実施を行い目的に合致した実験結果を得ることを想定しているが、特に実験計画の立案にあたっては、研究の背景を十分に理解し、具体的な手順を検討する必要があり、高度な専門性を要することから、プロポーザルによる技術提案が最も妥当と考えられる。そのため、契約方式を簡易公募型プロポーザルとした。 その結果、入札説明書を交付した8者のうち、本業務に参加表明し、業務実施要件を満たし技術提案を行った者は左記業者1者であった。 また、左記業者は予定管理技術者の業務実績、技術提案の内容等を総合的に評価した結果、本業務を実施するうえで必要な能力が十分に備わっていることが確認された。 以上の理由から左記業者を選定し、国立研究開発法人土木研究所会計規程第52条第4項第一号及び国立研究開発法人土木研究所契約事務取扱細則第26条第1項第二号ホの規定により随意契約を行うものである。	25,993,000	25,993,000	100.0%					
人工魚礁周辺生態系モデル検討その他業務	契約職 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所長 井上 勝伸 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34	令和7年10月23日	(株)アルファ水工コンサルタンツ 札幌市西区発寒9条14丁目 516-336	3430001001109	本業務は、人工魚礁整備箇所における流況環境を対象とし、3次元数値流体解析モデルを用いて流況解析を実施し、その結果を元に生態系モデルを用いて人工魚礁の漁場環境改善効果を定量的に把握するものである。また、当該海域における関連の業務成果をとりまとめ、沖合に人工魚礁を整備するための3次元数値流体解析モデル及び生態系モデル構築手法のマニュアルを作成するものである。 沖合に整備されている多くの人工魚礁群(以下、魚礁群)は複雑な形状を有する複数のコンクリートブロック式魚礁や鋼製タワー式魚礁で構成されている。魚礁群の周辺では、湧昇流、下降流、渦流、静穏域など、魚礁の形状や配置状況によって空間的に変化する複雑な流速場が生成されることにより、被食者、餌料物質、栄養塩等の物質輸送が活発となり、魚礁群の設置前よりも漁場環境が大きく改善することが経験的に知られている。このような魚礁群の設置に伴う漁場環境改善効果を定量的に評価するためには、魚礁の形状・配置状況を考慮した3次元流動解析モデルと流れによって空間的に変化する被食者、餌料物質、栄養塩等の物質輸送過程を考慮した生態系モデルの構築が必要となる。これら2つのモデル構築には高度な知識、技術および構想力が求められる。このように、本業務では技術提案による検討事項が多いことから、契約方式を簡易公募型プロポーザル方式が適切と判断した。 その結果、入札説明書を交付した7者のうち、本業務に参加表明し、業務実施要件を満たし技術提案を行った者は左記業者1者であった。 また、左記業者は予定管理技術者の業務実績、技術提案の内容等を総合的に評価した結果、本業務を実施するうえで必要な能力が十分に備わっていることが確認された。 以上の理由から左記業者を選定し、国立研究開発法人土木研究所会計規程第52条第4項第一号及び国立研究開発法人土木研究所契約事務取扱細則第26条第1項第二号ホの規定により随意契約を行うものである。	19,954,000	19,954,000	100.0%					

工事・業務の名称及び数量	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	随意契約によることとした理由及び根拠条文	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	公益法人の場合			備考
										公益法人の区分	国所管、都道府県所管の区分	応札・応募者数	
衛星画像による河道変遷可視化システム改良業務	契約職 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所長 井上 勝伸 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34	令和7年11月6日	日本工営(株)札幌支店 札幌市中央区北5条西6丁目2	2010001016851	<p>本業務は、衛星画像から複数の河川の河岸侵食リスクを総合的に評価するため、汎用性の高い水域抽出システムと効率的な解析環境を構築することを目的とする。</p> <p>本業務の遂行には、衛星データからの流路変動の自動抽出にAI技術を活用するプログラミング技術が必要である。また、限られた期間内で効率的かつ実用的な解析システムを構築するためには、技術者の高度な専門性と創意工夫に基づく技術提案が不可欠である。</p> <p>これらの理由から、本業務は、技術提案に依る内容が多く、契約方式を簡易公募型プロポーザル方式とした。</p> <p>その結果、入札説明書を交付した7者のうち、本業務に参加表明し、業務実施要件を満たし技術提案を行った者は2者であった。</p> <p>左記業者は、予定管理技術者の業務実績、技術提案の内容等を総合的に評価した結果、2者中、最も優れている者として特定した。</p> <p>以上の理由から左記業者を選定し、国立研究開発法人土木研究所会計規程第52条第4項第一号及び国立研究開発法人土木研究所契約事務取扱細則第26条第1項第二号ホの規定により随意契約を行うものである。</p>	8,976,000	8,976,000	100.0%					